



秋深き臥竜山 莊木洩陽を

うけし千両の朱実輝く

北黒田 松野 静代

背中にはまわたを引きて温き

母の形見の半てんを着る

南黒田 住田 鈴

草引きつつ見上ぐる空にとび一羽

ゆつたりと舞ふ秋深む午後

北黒田 松浦 時代

手をすって温めてから握手する

三学期なり子らに言葉す

筒井 永見 時子

第五十七回結婚記念日に

さねづか試すと赤飯を蒸す

北川原 谷 口 博美

御骨などなかりしといふ十柱の

軍人墓地の改葬終る

東古泉 森 下 圭子

歩くたび悲鳴をあげる関節の

膝さすりつつ柚子湯に癒す

東古泉 早瀬 操



海風の春まだ寒き浜畑に

人ら耕すなべて老いつつ

筒井 鶴井 恭子

手づかみに釘はかり売りしたる四拾年

わが指のふし太くなりたり

浜 三好 長代

年明けのひよこたん池を泳ぎくる

鴨のつがひは水脈ひろげくる

中川原 山本 清子

編集後記

◆ 昨年の新潟信越地震に続いて、福岡西方沖地震が発生し、また多数の被災者が生じてしまいました。被災者の方には心よりお見舞い申し上げます。注目する点は、今回の地震は、過去の歴史上一度も地震が発生したことのない地域で、発表された「地震動予測地図」でも震度6弱の確率が0・1%未満とされる地域で起こったことで、確率の高低に関わらず、どこで発生しても不思議ではないということです。

◆ 当町としては、防災意識の向上と防災・消防・救急対策の充実のための防災マニュアル作成と、地域自主防災組織結成を支援するための予算を計上し成しました。東南海地震・南海地震発生の可能性が高まる中で、山のない平坦地である当町としては、津波に対応した避難場所を含めた、インフラ及び防災マップの整備と住民への周知・訓練が急がれます。

◆ 芸予地震から4年が経過しましたが、今回の地震を他人事と考えず、自ら(家族・地域)の身は自ら守る意識が求められます。